

高い保温性と結露防止を兼ね備えた

# 断熱アコーディオンカーテン



▲アルミ面

▼ターポリン面



## 特長1 断熱シートで熱伝導防止

断熱シートの中心部は綿状に形成され、個々の繊維の中にも空気を気泡として閉じ込め保存。表面は伝導率の低いPE発砲シートで包み、さらに「デッド・エア（動かない空気）」を保持することでより熱伝導を防ぎます。

## 特長2 カーテンレール使用で開閉もラクラク行えます。

カーテンレールに断熱シートを取り付けて使用します。

断熱効果が高く冷気を逃がしにくいので、冷蔵庫内の間仕切りとして使用できます。

片引もしくは引き分け取手<sup>\*</sup>を併用すると、開閉も容易に行えます。さらに空気漏れを塞ぎたい場合はカーテンレール上部に隙間シート<sup>\*</sup>を取り付けたり、カーテン不要時には片側で止めておいたりすることが可能です。

(<sup>\*</sup>オプション)

## 断熱シートの熱貫流率試算

熱貫流率 :  $K = 2.17 \text{Kcal/m}^2 \cdot \text{h} \cdot ^\circ\text{C}$

熱伝導率  $\lambda 1 : 0.05 \text{Kcal/m} \cdot \text{h} \cdot ^\circ\text{C}$

外表面熱伝達率  $\lambda 2 : 5 \text{Kcal/m} \cdot \text{h} \cdot ^\circ\text{C}$  (無風状態)

内表面熱伝達率  $\lambda 3 : 7 \text{Kcal/m} \cdot \text{h} \cdot ^\circ\text{C}$  (微風状態)

シート厚  $t : 0.003 \text{m}$ (平均)

$$K = \frac{1}{1/\lambda 2 + t/\lambda 1 + 1/\lambda 3}$$

\*注意

①断熱シートの熱貫流率は、間仕切り材の内外風速に大きく影響されます。上記試算は片方が無風、片方が微風で行いました。

両面が無風であれば  $K=2.17 \text{Kcal/m}^2 \cdot \text{h} \cdot ^\circ\text{C}$

両面が微風であれば  $K=2.89 \text{Kcal/m}^2 \cdot \text{h} \cdot ^\circ\text{C}$

②断熱シートの厚みはステッチ部分が薄く(約1mm)、最も厚い部分(6mm)とばらついており、熱貫流率もそれにより変わります。計算上平均値3mmとしました。

ステッチ部分の熱貫流率  $K=2.44 \text{Kcal/m} \cdot \text{h} \cdot ^\circ\text{C}$  (両面無風時)

厚み6mm部分の熱貫流率  $K=1.93 \text{Kcal/m} \cdot \text{h} \cdot ^\circ\text{C}$  (両面無風時)

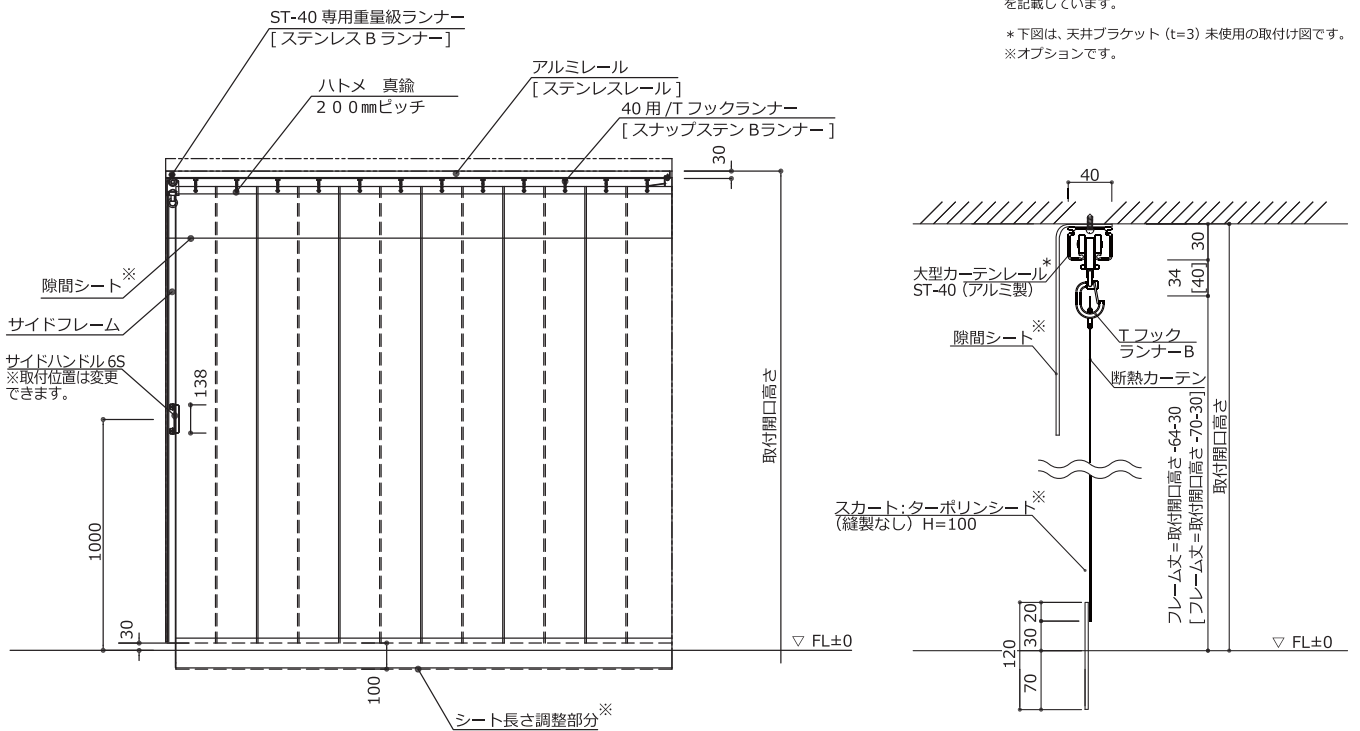
③ステッチ部分は熱貫流率が大きいため、表面に結露が付きやすくなります。

④温度差を大きくする場合注意しなければならないのは表面の結露です。結露を防ぐには、湿度を抑えること、

温度の高い面に風を当てることにより、結露しにくくなります。逆に低温側に風を当て、高温側が無風の場合、結露は発生しやすくなります。

2種類の断熱素材とアルミフィルム及び空気層を合理的に組み合わせた断熱シート。  
紫外線をカットし、温度差 15 度でも結露しにくい環境づくりをご提案します。

納まり図 (例)



生地構成

片面 ターポリン 片面 アルミ仕様

[1層: ターポリン (防災)、2層: 綿 (防災ポリエステル)、3層: 不織布、4層: アルミシート]

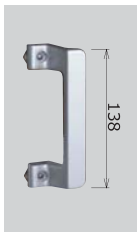
●隙間シート、スカートの生地構成はターポリンになります。



オプション



スチールΦ13 丸落とし  
[ステンレスΦ12 丸落とし]  
L=300



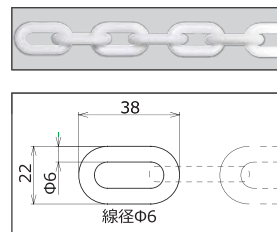
サイドハンドル 6S



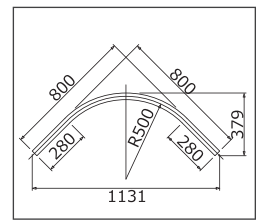
ステンレスフック



天井ブラケット  
スチール  
[ステンレス]



プラスチックチェーン



カーブレール

販売元

株式会社 **ユニフロー**

URL <https://www.uniflow.co.jp>

本社 ..... TEL. 03-5719-6700 FAX. 03-5719-6699  
 仙台支店 ..... TEL. 022-782-1541 FAX. 022-231-8566  
 名古屋支店 ..... TEL. 052-930-5701 FAX. 052-930-5708  
 大阪支店 ..... TEL. 06-6392-1345 FAX. 06-6392-1346  
 福岡支店 ..... TEL. 092-472-6931 FAX. 092-473-4919

札幌営業所 ..... TEL. 011-712-0671 FAX. 011-712-0672  
 関東営業所 ..... TEL. 0495-72-9700 FAX. 0495-72-9702  
 広島営業所 ..... TEL. 082-263-7800 FAX. 082-263-3345